

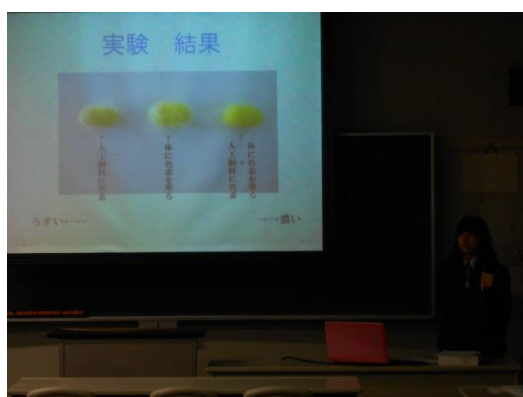
『化学工学会徳島大会』

日時：平成 27 年 3 月 7 日（土）

3月7日(土)に第17化学工学会徳島大会が徳島大学常三島キャンパスで開催されました。8つの会場で京都大学、大阪大学、神戸大学、広島大学、九州大学など大学生の発表数が約100、宇部高専や鈴鹿高専など高等専門学校生徒の発表数が約40ありました。そのなかで、益田高校、浜田高校、京都府立桃山高校、徳島県立脇町高校などの高校生の発表も行われました。

大学生の発表をたくさん聞くことができ、どのような順序で研究を行うのか、どのように発表すれば聞いている人にわかりやすく伝わるのかなど勉強になりました。

発表会の後は、特別講演が行われ、阿南工業高等専門学校 塚本史郎教授が「ひよんなことから触媒研究—青色LEDの材料が薬をつくるのに役立つ?—」という演題で、研究と人のつながりの大切さを話されました。その後、化学工学会の活動やインターンシップ体験談などが発表されました。



理数科1年 福満 和さんの発表です。



来年度の向かっての新しい研究についても発表しました。



奨励賞をいただきました。

